

# 成

四年  
 画数 6  
 筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅  
 オン セイ・シヨウ  
 フン なりすいる

成の立ち



武器の形を表した「戌」と、安定の意味の「丁」(一年11釘で打ちつけて安定させる)とを組み合わせて作った字です。

「武器を使って世の中を安定させる」という意味の字で、「手向かう敵を平らげる」ことを表したものです。

「なしとげる」こと。【例成就、成功】

また、「できあがる」という意味にも使われます。【例完成、成熟】

〔成の音は「丁」の転化したもの。セイは漢音、シヨウは呉音である。「戌」は「矛」と同音同義である。〕

使い方

▽「為せば成る。為さねば成らぬ、何事も。成らぬは人の為さぬなりけり」ということばがあります。「やろうと思えばできる。できないというのは、やる気がないからだ」という意味です。じつさい、たいていのことは、やろうと思えばできるのです。

熟語例

▽成就(成しとげること。また、願いがかなうこと。「一つの仕事を成就したあとの喜びは大きい」などというふうに、つかいます。)

▽成功(目的を成しとげること。「見事に実験に成功した」などというふうに、つかいます。)

▽完成(完全にできあがること。「ビルの工事が完成した」などというふうに、つかいます。)

▽成熟(作物などができあがって、熟すること。また人間が、十分に成長すること。「木で成熟したくたものは、青いうちにつんだのより、ずっとおいしい」などというふうに、つかいます。)

▽成長(育って大きくなること。おとなになること。)

# 省

四年  
 画数 9  
 筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈  
 オン セイ・シヨウ  
 フン かえりみる・はぶりく

成の立ち



「少ない」という意味の「少」と、「目」という字を組み合わせて作った字です。

「目に入るものを少なくする」という意味の字で、ひとつやうでない物を「はぶ」いて、かんたんにすることを表した字です。【例省略】

物を「はぶく」時には、よく見、よく考えなければなりません。それで、「よく見、よく考える」という意味の「かえりみる」という意味にも使われます。【例反省、内省】

「故郷に帰り、両親のようすを見る」ことの意味にも使われます。【例帰省】

また、国の役所の名前に使われます。【例文部省、大蔵省】

使い方

▽自分の行った事を省みると、後悔することも多いけれど、良い事をしたと思えることもあるので、ほっとします。

熟語例

▽省略(省いて、かんたんにすること。「この文章は、ずいぶん言葉を省略してあるが、意味は良くわかる」などというふうに、つかいます。)

▽反省(自分の行いや態度に悪い所がなかったか、省みること。)

▽内省(自分の心の中や行いなどを、ふり返って、よく考えること。「反省」とほぼ同じ意味です。「内省的な性格」というふうに、つかいます。)

▽帰省(両親のようすを見るために、故郷に帰ること。「今年も、帰省する人たちで、交通機関はごった返した」などというふうに、つかいます。)